

平成 17 年 3 月期 第 2 四半期財務情報（連結）

平成 16 年 10 月 20 日

上場会社名 HOYA株式会社 (コード番号：7741 東証第1部)
 (URL：<http://www.hoya.co.jp>)
 代表者 代表執行役CEO 鈴木 洋
 問合せ先責任者 CFO 江間 賢二 TEL (03) 3952 - 1160

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無：無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

直前四半期（当第1四半期）比：連結（新規）1社、（除外）-社、持分法（新規）-社、（除外）-社

2. 平成 17 年 3 月期第 2 四半期の業績概況（平成 16 年 7 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）[単位：百万円]

(1)経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益
17年3月期第2四半期	78,486 (15.8)	23,047 (40.5)	24,404 (56.1)
16年3月期第2四半期	67,786 (9.7)	16,400 (17.6)	15,638 (10.3)
(参考)16年3月期	271,443	68,166	66,554

	四半期（当期）純利益	1株当たり 四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益
17年3月期第2四半期	16,671 (82.6)	149円78銭	149円42銭
16年3月期第2四半期	9,129 (14.4)	81円12銭	81円08銭
(参考)16年3月期	39,548	350円96銭	350円56銭

(注)売上高、営業利益等における()内は、対前年同四半期比増減率(%)。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
17年3月期第2四半期	319,944	250,696	78.4%	2,252円35銭
16年3月期第2四半期	265,734	205,213	77.2%	1,845円23銭
(参考)16年3月期	289,887	218,978	75.5%	1,967円60銭

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
17年3月期第2四半期	25,522	9,863	45	94,660
16年3月期第2四半期	23,171	6,229	33,094	62,895
(参考)16年3月期	78,743	28,338	42,853	80,425

当社は、四半期決算においても本決算と同程度の情報を迅速に開示し、証券アナリストをはじめとした市場参加者の方々に適切な業績予想を行っていただけるように配慮しておりますが、参考として、通期の連結業績予想を第3四半期（平成 16 年 10 月 1 日より 12 月 31 日まで）の決算発表時（平成 17 年 1 月）に公表の予定であります。

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。当資料に掲載されている予想数字あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。

(1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況

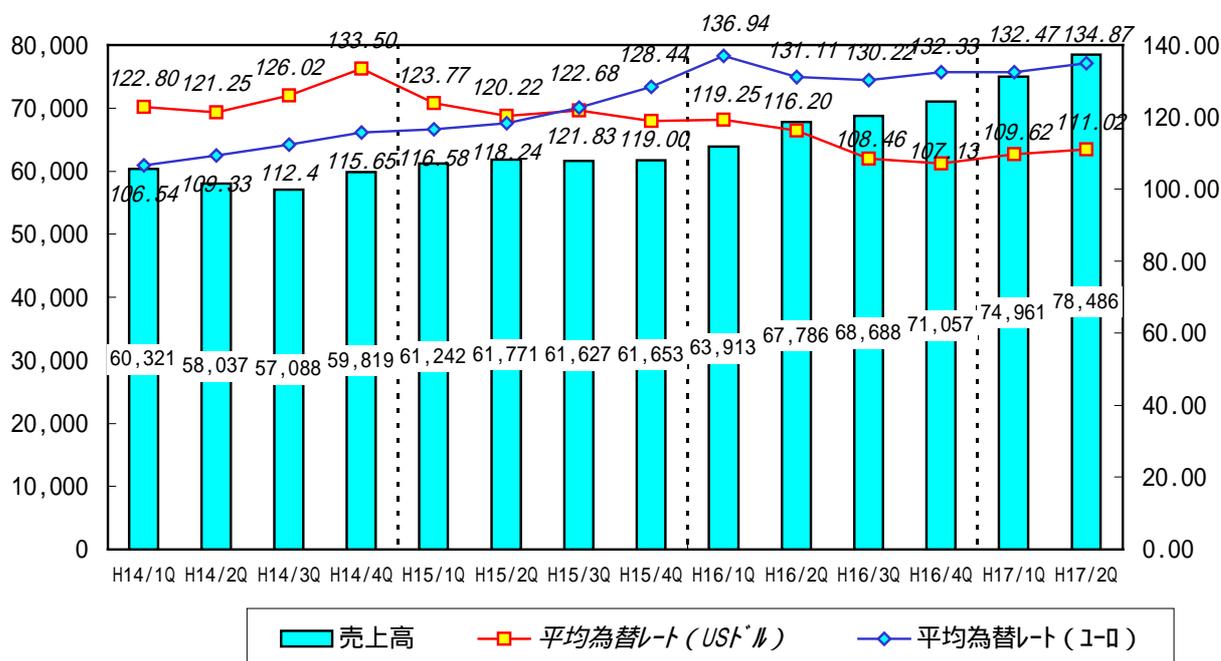
1 . 当第 2 四半期の経営成績

全般の状況

・売上高	:	784 億 8千6百万円	(前年同期比、	15.8 %増)
・営業利益	:	230 億 4千7百万円	(同、	40.5 %増)
・経常利益	:	244 億 4百万円	(同、	56.1 %増)
・四半期純利益	:	166 億 7千1百万円	(同、	82.6 %増)
・ 1 株当たり四半期純利益	:	149.78 円	(同、	68.66 円増)

- ・ 当四半期は、デジタル家電をけん引役として製造業の業況の改善が見られた第1四半期の好調さを引き継ぎ、例年にない猛暑とアテネ五輪の効果により家電販売をけん引役として個人消費にも明るさがみえてまいりました。
- ・ 為替の状況は、当四半期の平均為替レートは、前年同期と比べてUSドルは4.5%、タイ・パーツは5.7%のそれぞれ円高となり、ユーロは2.9%の円安となりました。
- ・ そうしたなか当社グループでは、エレクトロオプティクス部門では、デジタル家電の好調をけん引役として高精度製品の需要が継続しました。ビジョンケア部門では、長く低迷していた国内市場が底入れの様相を見せてまいりました。ヘルスケア部門ではコンタクトレンズ・眼内レンズ等いずれも高機能製品が堅調に推移しました。その結果、当四半期の連結売上高は784億8千6百万円と、前年同期に比べて15.8%の増収となりました。

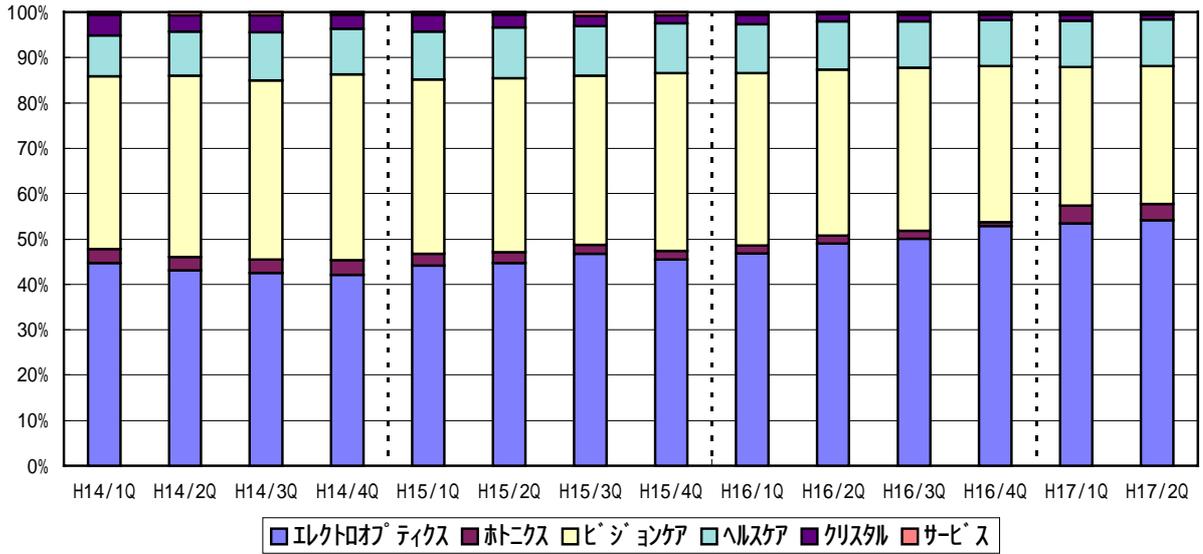
売上高 (単位: 百万円) と平均為替レート(円/USD・円・ユーロ)の四半期別推移



(注) 四半期推移のグラフの横軸の項目の表記は、決算期と四半期別を表しております。

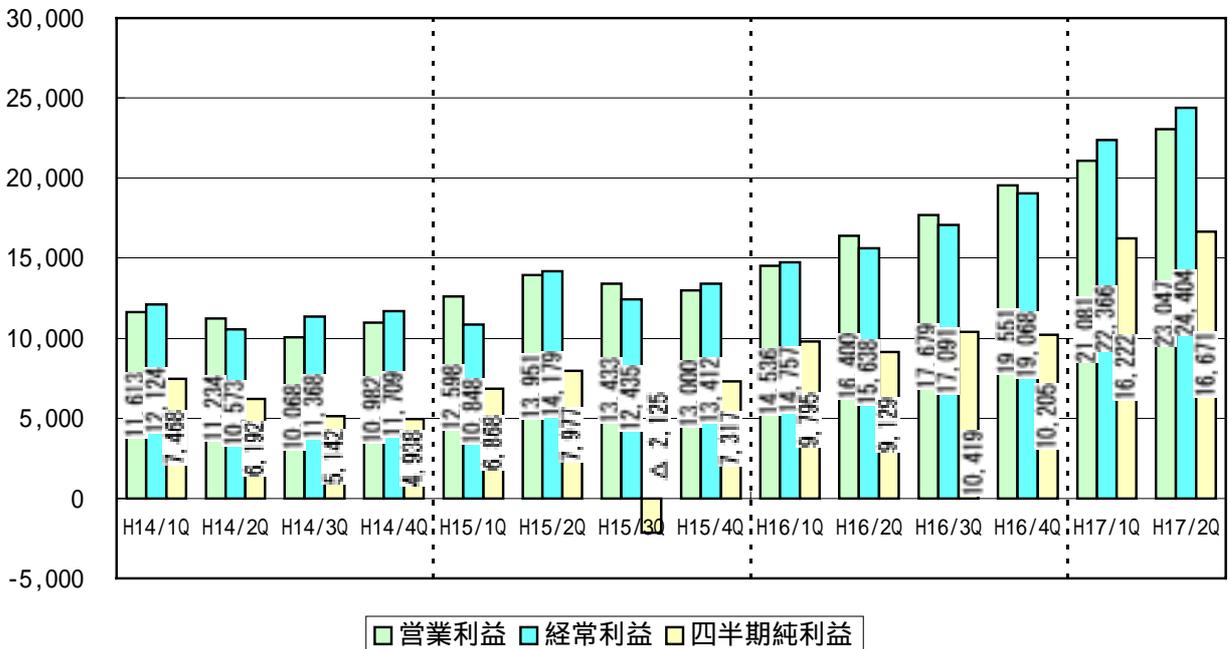
例: 「H17/2Q」は、平成17年3月期の第2四半期(当第2四半期:平成16年7月1日~同9月30日)を、同様に「H16/2Q」は、平成16年3月期の第2四半期(前第2四半期:平成15年7月1日~同9月30日)を意味します。

部門別売上高構成比の四半期推移



- 当四半期は、エレクトロoptics部門で高精度製品の受注が根強く、主力の工場はフル生産を続け、アイケア分野でも量産工場・加工拠点の統合効果および高付加価値製品の販売拡大によりとも増益となりました。グループ全体で前年同期に比べ、営業利益は40.5%、経常利益は56.1%、四半期純利益は82.6%のそれぞれ増益となりました。売上高と合わせて、いずれも四半期ベースの過去最高となりました。1株当たり四半期純利益は149円78銭と前年同期に比べ68円66銭増加しました。

利益状況の四半期推移 (単位：百万円)



平成15年3月期第3四半期における四半期純利益の大幅な減少は、当社厚生年金基金の解散に向けた補填額14,949百万円を特別損失に計上したためのものです。

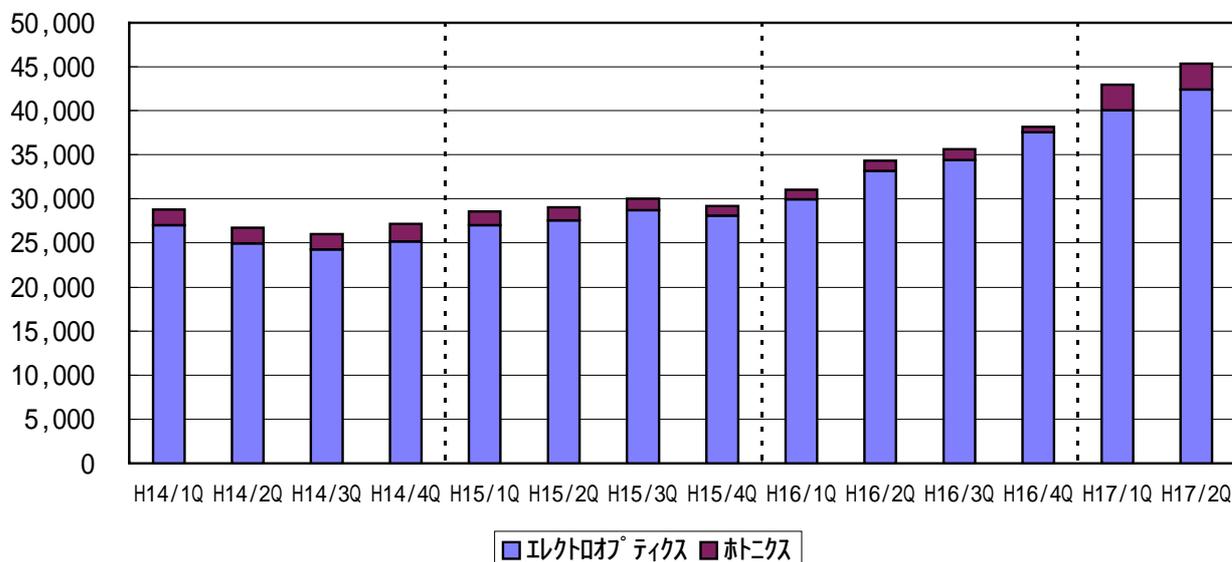
部門別の状況

(1) 情報・通信分野 売上高 : 453 億 4千8百万円 (前年同期比、32.0 %増)

エレクトロオプティクス 売上高 : 424 億 2千4百万円 (前年同期比、27.8 %増)

ホトニクス 売上高 : 29 億 2千4百万円 (前年同期比、153.2 %増)

情報・通信分野の売上高の四半期別推移 (単位: 百万円)



エレクトロオプティクス

- ・ 半導体製造用のマスクブランクスは、位相シフトマスク用ブランクス等、高精度品の受注が増加し、前年同期に比べ売上は増加しました。
- ・ 半導体製造用のフォトマスクは、高精度品および次世代向け開発品の受注の増加により売上は前年同期に比べて増加しました。液晶用大型マスクは、液晶パネルの供給能力の拡大により市況の悪化が伝えられておりますが、パネルメーカー各社で新ラインの立ち上げ、新機種開発は盛んでマスク需要は依然として強く、前年同期に比べて売上は増加しました。
- ・ HDD (ハードディスク装置) 用ガラスディスクは、携帯音楽プレイヤー向け等の、HDDの用途の拡大により需要が好調に拡大し、さらに前第4四半期に日本板硝子(株)より譲り受けた部分の売上が当第1四半期から加算されていますので、前年同期に比べて売上は大幅に増加しました。
- ・ 光学製品は、市場におけるデジタルカメラの勢いは一時の過熱状態は脱したものの依然として堅調な伸びを続けており、当社の非球面モールドレンズも前年同期に比べて売上は増加しました。

ホトニクス

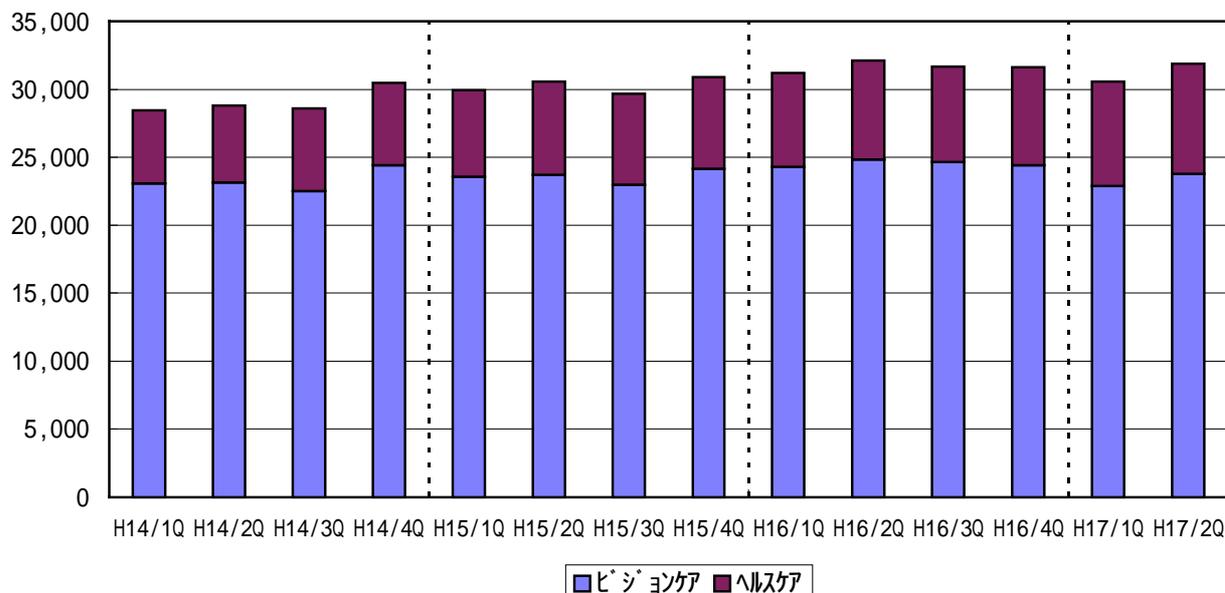
- ・ 前期末までエレクトロオプティクス部門として売上計上しておりましたHOYA CANDEO OPTRONICS(株) (旧HOYA-SCHOTT(株)) を当第1四半期より当部門に移管しましたため、売上は前年同期に比べて大きく増加しました。なお、旧HOYA-SCHOTT(株)は、前第1四半期末に持分法適用会社から連結子会社になりました。

(2) アイケア分野 売上高 : 318 億 8千7百万円 (前年同期比、0.7 %減)

ビジョンケア 売上高 : 238 億 3百万円 (前年同期比、4.1 %減)

ヘルスケア 売上高 : 80 億 8千4百万円 (前年同期比、11.1 %増)

アイケア分野の売上高の四半期別推移 (単位: 百万円)



ビジョンケア

- ・メガネレンズの国内市場は、長く続いた低迷状態も底を打った感があり、緩やかな回復傾向が継続しています。当社では、低価格帯では依然厳しい価格競争があるものの、新製品の市場投入と累進レンズを中心とした製品の高付加価値化により高価格帯で成長し、全体の売上は前年同期に比べ増加しました。
- ・海外市場では、アジア・大洋州地域は製品の高付加価値化を進めて堅調に推移しました。欧米では引き続き累進レンズ・高屈折レンズ等の高付加価値化を強力に押し進めましたが、欧州最大市場のドイツで前期の健康保険システムの改定による特需の反動による低迷があり、海外市場合計の売上は前年同期に比べて減少しました。
- ・その結果、部門全体でも前年同期に比べて売上は減少しました。

ヘルスケア

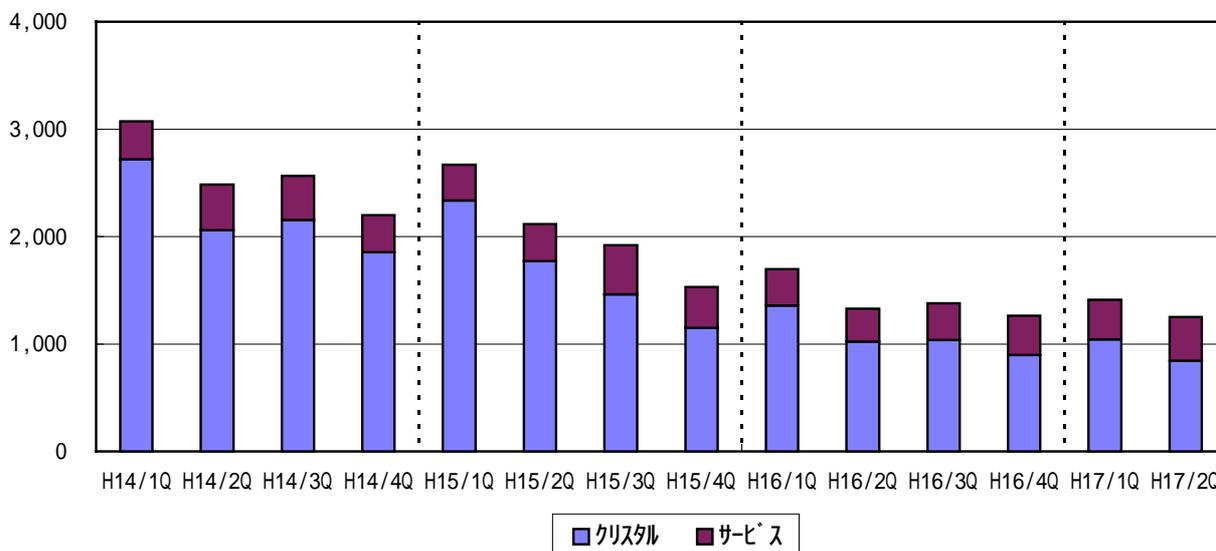
- ・コンタクトレンズは、市場で安売り店による価格競争が続く中、当社では、計画的な新規出店の継続と、専門知識を活かした接客サービスの向上、遠近両用レンズ等の高付加価値商品の販売拡大により競合との差別化を図り、前年同期に比べて売上は増加しました。
- ・眼内レンズ (IOL) は、軟性 (ソフト) IOL が国内外で好調に推移し、前年同期に比べて売上が増加しました。

(3) 生活文化分野 売上高 : 12億5千1百万円 (前年同期比 5.7%減)

クリスタル 売上高 : 8億4千4百万円 (前年同期比 17.3%減)

サービス 売上高 : 4億7百万円 (前年同期比 32.6%増)

生活文化分野の売上高の四半期別推移 (単位: 百万円)



- ・クリスタルは、事業の再構築のために規模を縮小しており、市場では法人需要が依然として低迷しているため、売上は前年同期に比べて減少しました。

2. 当第2四半期の財政状態

・総資産 : 3,199億4千4百万円 (当第1四半期末比、8.9%増)
 ・株主資本 : 2,506億9千6百万円 (同、8.7%増)
 ・株主資本比率 : 78.4% (同、0.1ポイント減)

- ・当四半期末では、当第1四半期末に比べて、現金及び預金が17,502百万円増加したため、流動資産は22,163百万円増加しました。一方、固定資産は4,066百万円増加しましたので、総資産は前期末に比べて26,245百万円の増加となりました。負債合計は6,144百万円増加しました。株主資本は、利益剰余金が16,662百万円増加したことにより、20,048百万円増加しました。

3. 当第2四半期のキャッシュ・フローの状況

・営業活動によるキャッシュ・フロー : 255億2千2百万円
 ・投資活動によるキャッシュ・フロー : 98億6千3百万円
 ・財務活動によるキャッシュ・フロー : 4千5百万円
 ・現金及び現金同等物期末残高 : 946億6千万円

- ・当四半期の営業キャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益22,282百万円と減価償却費5,225百万円を主体とし、25,522百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは次期製品対応投資を主体に9,863百万円となり、フリー・キャッシュ・フローは15,659百万円となりました。現金及び現金同等物の期末残高は、当第1四半期末に比べて17,501百万円増加しました。

(2) 四半期連結財務諸表等

1. 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

	科 目	当第2四半期 平成16年9月30日現在		当第1四半期 平成16年6月30日現在		増 減		前第2四半期 平成15年9月30日現在	
		金 額	構成比 (%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)	金 額	構成比 (%)
資 産 の 部	流 動 資 産	213,797	66.8	191,634	65.2	22,163	11.6	171,642	64.6
	現金及び預金	94,660		77,158		17,502		62,895	
	受取手形及び売掛金	73,042		69,902		3,140		63,420	
	たな卸資産	35,307		34,207		1,100		33,360	
	繰延税金資産	6,649		5,132		1,517		5,517	
	その他	5,591		6,651		1,060		7,952	
	貸倒引当金	1,453		1,418		35		1,504	
	固 定 資 産	105,907	33.1	101,841	34.7	4,066	4.0	93,589	35.2
	有形固定資産	85,515	26.7	82,772	28.2	2,743	3.3	76,866	28.9
	建物及び構築物	24,172		22,884		1,288		22,766	
	機械装置及び運搬具	36,848		34,530		2,318		33,788	
	土地	9,333		9,275		58		9,284	
	その他	15,161		16,081		920		11,027	
	無形固定資産	4,888	1.5	4,867	1.7	21	0.4	4,895	1.8
	投資その他の資産	15,503	4.9	14,201	4.8	1,302	9.2	11,826	4.5
	投資有価証券	8,183		6,963		1,220		5,265	
繰延税金資産	2,859		3,008		149		2,030		
その他	4,901		4,716		185		6,071		
貸倒引当金	441		485		44		1,540		
繰延資産	239	0.1	224	0.1	15	6.7	503	0.2	
資 産 合 計	319,944	100.0	293,699	100.0	26,245	8.9	265,734	100.0	
負 債 、 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部	流 動 負 債	66,381	20.7	60,111	20.5	6,270	10.4	57,501	21.7
	支払手形及び買掛金	27,415		27,292		123		23,974	
	短期借入金	150		233		83		2,050	
	未払法人税等	11,885		5,461		6,424		8,094	
	賞与引当金	3,835		1,982		1,853		3,746	
	その他	23,094		25,141		2,047		19,635	
	固 定 負 債	2,039	0.6	2,164	0.7	125	5.8	1,947	0.7
	長期借入金	-		10		10		150	
	その他	2,039		2,153		114		1,796	
	負 債 合 計	68,420	21.3	62,276	21.2	6,144	9.9	59,449	22.4
少 数 株 主 持 分	827	0.3	774	0.3	53	6.8	1,070	0.4	
資 本 金	6,264	2.0	6,264	2.1	-	-	6,264	2.3	
資本剰余金	15,898	5.0	15,898	5.4	0	0.0	15,898	6.0	
利益剰余金	243,722	76.2	227,060	77.3	16,662	7.3	232,147	87.4	
その他有価証券評価差額金	23	0.0	28	0.0	51	182.1	3	0.0	
為替換算調整勘定	6,714	2.1	9,893	3.4	3,179	32.1	9,154	3.5	
自己株式	8,498	2.7	8,650	2.9	152	1.8	39,938	15.0	
資 本 合 計	250,696	78.4	230,648	78.5	20,048	8.7	205,213	77.2	
負債、少数株主持分 及び資本合計	319,944	100.0	293,699	100.0	26,245	8.9	265,734	100.0	

(注)

1. 有形固定資産の減価償却累計額
2. 保証債務
3. 自己株式数

当第2四半期
159,519 百万円
1,089 百万円
1,044,621 株

当第1四半期
154,725 百万円
918 百万円
1,063,567 株

前第2四半期
155,408 百万円
669 百万円
4,911,680 株

2. 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日		前第2四半期 自平成15年7月1日 至平成15年9月30日		増 減		当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)	金 額	百分比 (%)
売 上 高	78,486	100.0	67,786	100.0	10,700	15.8	74,961	100.0
売 上 原 価	39,772	50.7	36,302	53.6	3,470	9.6	38,067	50.8
売 上 総 利 益	38,713	49.3	31,484	46.4	7,229	23.0	36,894	49.2
販売費及び一般管理費	15,666	19.9	15,084	22.2	582	3.9	15,812	21.1
営 業 利 益	23,047	29.4	16,400	24.2	6,647	40.5	21,081	28.1
営 業 外 収 益	1,723	2.2	946	1.4	777	82.1	2,002	2.7
受 取 利 息	212		150		62		216	
為 替 差 益	114		-		114		618	
持分法による投資利益	1,118		230		888		881	
そ の 他	276		565		289		286	
営 業 外 費 用	365	0.5	1,708	2.5	1,343	78.6	718	1.0
支 払 利 息	28		50		22		33	
売 上 割 引	144		157		13		113	
為 替 差 損	-		1,227		1,227		-	
そ の 他	192		274		82		572	
経 常 利 益	24,404	31.1	15,638	23.1	8,766	56.1	22,366	29.8
特 別 利 益	161	0.2	588	0.8	427	72.6	185	0.3
固 定 資 産 売 却 益	49		476		427		35	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	-		51		51		-	
そ の 他	112		61		51		149	
特 別 損 失	2,283	2.9	3,054	4.5	771	25.2	213	0.3
環 境 整 備 費	1,101		-		1,101		-	
退 職 加 算 金	684		82		602		41	
固 定 資 産 処 分 損	279		924		645		83	
減 損 損 失	26		-		26		30	
厚 生 年 金 基 金 補 填 額	-		879		879		-	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	-		228		228		-	
そ の 他	192		940		748		56	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	22,282	28.4	13,173	19.4	9,109	69.1	22,338	29.8
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	6,866	8.7	5,421	8.0	1,445	26.7	4,115	5.5
法 人 税 等 調 整 額	1,302	1.7	1,390	2.1	88	6.3	1,947	2.6
少 数 株 主 利 益	47	0.1	14	0.0	33	235.7	52	0.1
四 半 期 純 利 益	16,671	21.3	9,129	13.5	7,542	82.6	16,222	21.6
1株当たり四半期純利益	149.78円		81.12円		68.66円		149.15円	

(注)

1. 在外連結子会社の経営成績の換算に関する事項

(1) 当第2四半期の売上高・損益を、前第2四半期為替レートで換算した場合の金額とその差額

科 目	当第2四半期為替レート	前第2四半期為替レート	差 額
売 上 高	78,486百万円	78,663百万円	177百万円
営 業 利 益	23,047百万円	23,443百万円	396百万円
経 常 利 益	24,404百万円	24,842百万円	438百万円
中 間 純 利 益	16,671百万円	17,133百万円	462百万円

(2) 主要通貨の当四半期換算レートと前年同期比変動率

主要通貨	当第2四半期為替レート	前第2四半期為替レート	変 動 率	当第1四半期為替レート
USドル US\$	111.02円	116.20円	4.5% (円高)	109.62円
ユーロ EURO	134.87円	131.11円	-2.9% (円安)	132.47円
タイ・バツt BAHT	2.67円	2.83円	5.7% (円高)	2.71円

円換算基準：毎月末の東京外国為替市場の相場仲値単純平均

2. 重要な後発事象

該当する事項はありません。

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切捨)

	科 目	当第2四半期 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日	前第2四半期 自平成15年7月1日 至平成15年9月30日	増 減	当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日
資本剰余金の部	. 資本剰余金期首残高	15,898	15,898	-	15,898
	. 資本剰余金増加高	-	0	0	-
	自己株式処分差益	-	0	0	-
	. 資本剰余金減少高	-	-	-	-
	. 資本剰余金期末残高	15,898	15,898	-	15,898
利益剰余金の部	. 利益剰余金期首残高	227,060	223,018	4,042	247,175
	. 利益剰余金増加高	16,671	9,129	7,542	16,222
	四半期純利益	16,671	9,129	7,542	16,222
	. 利益剰余金減少高	9	-	9	36,337
	1. 配当金	-	-	-	5,563
	2. 取締役賞与金	-	-	-	63
	3. 自己株式消却額	-	-	-	30,702
	4. 自己株式処分差損	9	-	9	9
	. 利益剰余金期末残高	243,722	232,147	11,575	227,060

4. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

項 目	期 別		増 減 金 額	当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日 金 額
	当第2四半期 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日 金 額	前第2四半期 自平成15年7月1日 至平成15年9月30日 金 額		
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益	22,282	13,173	9,109	22,338
減価償却	5,225	5,018	207	4,897
減損	26	-	26	30
貸倒引当金の増加額又は減少額()	42	207	165	57
賞与引当金の増加額又は減少額()	1,851	1,861	10	1,738
役員退職慰労金引当金の減少額	-	56	56	-
特別修繕引当金の増加額又は減少額()	95	30	125	233
受取利息及び受取配当金	214	150	64	220
支払利息	28	50	22	33
為替差損又は為替差益()	100	726	826	154
持分法による投資利益	1,118	230	888	881
固定資産売却益	49	476	427	35
固定資産処分損	279	924	645	83
投資有価証券売却益	-	51	51	-
投資有価証券評価損	-	228	228	-
取締役賞与の支払額	-	-	-	63
その他の	6	73	67	242
売上債権の増加	2,609	1,534	1,075	2,384
たな卸資産の減少額又は増加額()	624	559	1,183	1,225
その他流動資産の減少額又は増加額()	729	124	853	557
仕入債務の増加額	30	1,431	1,401	1,493
未払消費税等の増加額又は減少額()	83	337	420	39
その他流動負債の増加額又は減少額()	416	426	842	196
小計	25,938	21,152	4,786	23,029
利息及び配当金の受取額	217	155	62	220
利息の支払額	42	44	2	36
法人税等の還付額又は支払額()	590	1,907	2,497	13,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,522	23,171	2,351	10,090
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	9,336	6,367	2,969	7,729
有形固定資産の売却による収入	6	600	594	79
投資有価証券の取得による支出	10	116	106	-
投資有価証券の売却による収入	-	88	88	-
貸付による支出	64	-	64	-
貸付金の回収による収入	14	-	14	79
その他投資に関する支出	516	610	94	879
その他投資に関する収入	44	175	131	121
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,863	6,229	3,634	8,328
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の借入及び返済による収入及び支出() (純額)	85	13	98	262
長期借入金の返済による支出	11	0	11	0
自己株式の取得による支出	5	32,897	32,892	10
自己株式の売却による収入	149	0	149	151
親会社による配当金の支払額	-	210	210	5,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	45	33,094	33,139	5,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,796	2,449	4,245	657
現金及び現金同等物の増加額	17,501	18,603	36,104	3,267
現金及び現金同等物期首残高	77,158	81,498	4,340	80,425
現金及び現金同等物期末残高	94,660	62,895	31,765	77,158

(注) 連結キャッシュ・フロー計算書の は、現金及び現金同等物の流出を示しております。

5. 四半期財務情報の作成のための基本となる事項

(1) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

- ・ 連結子会社数 56社
 主要会社名 (海外) HOYA HOLDINGS, INC., HOYA HOLDINGS N.V.,
 HOYA HOLDINGS ASIA PACIFIC PTE LTD, HOYA PHOTONICS, INC.
 (国内) HOYA CANDEO OPTRONICS株式会社、HOYAエクスプレス株式会社
- ・ 非連結子会社数 - 社
- ・ 関連会社数 5社(うち、持分法適用会社数 1社 = NHテクノガラス株式会社)

(2) 会計処理の方法等の変更

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

イ. 連結範囲 :

a. 前第2四半期末(平成15年9月末)との比較 = 1社減少

- ・ 新規設立により2社増加
 - ・ HOYA MICROELECTRONICS TAIWAN CO., LTD. (台湾)
 - ・ HOYA ELECTRONICS KOREA CO., LTD. (韓国)
- ・ 買収により3社増加
 - ・ HOYA GLASS DISK PHILIPPINES, INC. (フィリピン)
 - ・ HOYA GLASS DISK MALAYSIA SDN.BHD. (マレーシア)
 - ・ RADIANT IMAGES, INC. (米国)
- ・ 親会社への吸収合併により1社減少
 - ・ HOYAオプティクス株式会社
- ・ 閉鎖により4社減少
 - ・ HOYA PHOTONICS SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
 - ・ CONTINUUM ELECTRO-OPTICS GMBH (ドイツ)
 - ・ HOYA OPTICAL TAIWAN CO., LTD. (台湾)
 - ・ KOREA OPTICAL GLASS CO., LTD. (韓国)
- ・ 売却により1社減少
 - ・ NEW CHROMMEX, INC. (米国)

b. 当第1四半期末(平成16年6月末)との比較 = 1社増加

- ・ 新規設立により1社増加
 - ・ HOYA ELECTRONICS KOREA CO., LTD. (韓国)

ロ. 持分法適用会社 :

a. 前第2四半期末(平成15年9月末)との比較

- ・ 該当事項はありません。

b. 当第1四半期末(平成16年6月末)との比較

- ・ 該当事項はありません。

	当第2四半期	当第1四半期	増減	前第2四半期
連結子会社数	56 (国内6、海外50)	55 (国内6、海外49)	+1 (国内-、海外+1)	57 (国内7、海外50)
非連結子会社数	- (国内-、海外-)	- (国内-、海外-)	- (国内-、海外-)	- (国内-、海外-)
関連会社数	5 (国内5、海外-)	5 (国内5、海外-)	- (国内-、海外-)	5 (国内5、海外-)
(うち持分法適用会社数)	(1) (国内1、海外-)	(1) (国内1、海外-)	(-) (国内-、海外-)	(1) (国内1、海外-)
合計 (うち持分法適用会社数)	61社 (1社)	60社 (1社)	+1社 (-)	62社 (1社)

追加情報 : (固定資産の減損に係る会計基準)

固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日)が平成16年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、前期第4四半期から同会計基準及び同適用指針を適用しております。

当四半期において27百万円の減損損失を特別損失に計上しており、前第2四半期に比べ、税金等調整前四半期純利益は同額減少しております。なお、減損損失累計額については、各資産の金額から直接控除しております。

[四半期連結キャッシュ・フロー計算書に係る注記]

(単位：百万円未満切捨)

1. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に記載されている科目の金額

	当第2四半期 平成16年 9月30日現在	前第2四半期 平成15年 9月30日現在	当第1四半期 平成16年 6月30日現在
現金及び預金勘定	94,660	62,895	77,158
有価証券勘定	-	-	-
計	94,660	62,895	77,158
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-	-
価値の変動についてリスクを負う有価証券	-	-	-
現金及び現金同等物	<u>94,660</u>	<u>62,895</u>	<u>77,158</u>

2. 重要な非資金取引の内容

当第2四半期(自 平成16年7月1日 至 平成16年9月30日)
該当事項はありません。

前第2四半期(自 平成15年7月1日 至 平成15年9月30日)
該当事項はありません。

当第1四半期(自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)
自己株式の消却 30,702 百万円

[有価証券及びデリバティブ取引に係る注記]

1. 時価のある有価証券

(単位：百万円未満切捨)

区分	当第2四半期 (平成16年9月30日現在)			当第1四半期 (平成16年6月30日現在)			前第2四半期 (平成15年9月30日現在)		
	連結貸借対照表計上額	時価	差額	連結貸借対照表計上額	時価	差額	連結貸借対照表計上額	時価	差額
(1)満期保有目的の債券									
国債・地方債等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2)その他有価証券	取得原価	連結貸借対照表計上額	差額	取得原価	連結貸借対照表計上額	差額	取得原価	連結貸借対照表計上額	差額
株式	159	270	110	159	237	77	102	119	17
債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国債・地方債等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	159	270	110	159	237	77	102	119	17

2. 時価評価されていない主な有価証券(時価のある有価証券のうち満期保有目的の債券を除く)

(単位：百万円未満切捨)

区分	当第2四半期 (平成16年9月30日現在)		当第1四半期 (平成16年6月30日現在)		前第2四半期 (平成15年9月30日現在)	
	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額
(1)満期保有目的の債券						
国債・地方債等	-	-	-	-	-	-
社債	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-
(2)関連会社株式	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額
非上場株式		7,636		6,464		4,495
計		7,636		6,464		4,495
(3)その他有価証券	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額
非上場株式		275		262		650
計		275		262		650

3. デリバティブ取引の契約額、時価及び評価損益等

該当事項はありません。

[税効果会計に係る注記]

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円未満切捨)

(1) 流動の部	当第2四半期	当第1四半期	前第2四半期
	平成16年 9月30日現在	平成16年 6月30日現在	平成15年 9月30日現在
繰延税金資産			
賞与引当金否認額	1,494	742	1,482
減価償却損金算入限度超過額	906	1,217	1,245
たな卸資産未実現利益	1,808	1,744	916
未払事業税否認額	737	261	643
その他	1,702	1,166	1,229
繰延税金資産 合計	6,649	5,132	5,517
(2) 固定の部			
繰延税金資産			
減価償却損金算入限度超過額	1,926	1,955	1,731
貸倒引当金損金算入限度超過額	153	169	364
減損損失否認額	847	836	-
その他	807	938	974
繰延税金資産 合計	3,735	3,900	3,070
繰延税金負債			
固定資産圧縮積立金	431	442	537
特別償却準備金	278	283	337
その他	165	165	165
繰延税金負債 合計	875	891	1,040
繰延税金資産の純額	2,859	3,008	2,030

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	当第2四半期	前第2四半期	当第1四半期
	自平成16年7月1日 至平成16年9月30日	自平成15年7月1日 至平成15年9月30日	自平成16年4月1日 至平成16年6月30日
連結財務諸表提出会社の法定実効税率 (調整)	40.4 %	41.7 %	40.4 %
海外連結子会社の税率差異	11.8	9.4	13.2
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2	0.3	0.3
住民税均等割	0.1	0.2	0.1
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	-	-	9.3
受取配当金等連結消去に伴う影響額	-	-	9.3
持分法による投資利益	2.0	0.7	1.6
試験研究費等の特別税額控除	0.6	-	0.7
その他	1.3	1.5	1.8
税効果会計適用後の法人税等の負担率	25.0	30.6	27.1

[退職給付に係る注記]

(単位：百万円未満切捨)

1. 当社グループの採用する退職給付制度

従来、退職一時金制度及び厚生年金基金制度を採用しておりましたが、平成15年3月期第3四半期において退職一時金制度を廃止しました。厚生年金基金につきましては、平成15年1月29日に厚生労働大臣より解散の認可を得て同日解散し、結了手続きを進めておりましたが、当第1四半期の平成16年5月26日に厚生労働大臣より清算結了の承認を得ました。

2. 退職給付債務等の内容

(1) 退職給付債務及びその内訳

該当事項はありません。

(2) 退職給付費用の内訳

	当第2四半期 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日	前第2四半期 自平成15年7月1日 至平成15年9月30日	当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日
厚生年金基金補填額	-	879	-
退職加算金	684	82	41
退職給付費用	<u>684</u>	<u>961</u>	<u>41</u>

(3) 退職給付債務等の計算基礎

記載すべき事項はありません。

[固定資産の減損に係る注記]

当社は、ビジネス・ユニットを基準として、資産のグループ化を行っており、当中間期及び前期第4四半期において、以下の資産グループについて減損処理をしました。

場 所	用 途	種 類
クリスタル部門における武蔵工場（埼玉県入間市）等	クリスタル製造設備等	建物・機械装置、リース資産等

クリスタル部門は、市場の低迷により個人需要・法人向けギフトともに落ち込みが大きいいため、同部門に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を次のとおり減損損失として特別損失に計上しました。

	当第2四半期 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日	前第2四半期 自平成15年7月1日 至平成15年9月30日	当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日
建物	-	-	-
機械装置	0	-	10
工具器具備品	16	-	8
リース資産	-	-	-
その他	9	-	12
計	<u>26</u>	<u>-</u>	<u>30</u>

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを5%で割り引いて算定しております。

(3) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円未満切捨)

科目	セグメント	当第2四半期：自平成16年7月1日 至 平成16年9月30日								
		情報・通信		アイケア		生活文化		計	消去又は 全社	連結
		エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア	クリスタル	サービス			
1. 売上高及び営業損益										
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高		42,424	2,924	23,803	8,084	844	407	78,486	-	78,486
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		155	42	1	0	7	1,267	1,470	(1,470)	-
計		42,580	2,967	23,801	8,083	851	1,674	79,956	(1,470)	78,486
営業費用		25,327	2,605	19,663	6,097	931	1,524	56,147	(709)	55,439
営業利益又は営業損失()		17,253	362	4,138	1,986	80	150	23,808	(761)	23,047
営業利益率(%)		40.5%	12.2%	17.4%	24.6%	-9.4%	9.0%	29.8%	-	29.4%
2. 資産、減価償却費及び資本的支出等										
資産		148,813	8,170	92,124	20,882	2,466	2,496	274,953	44,990	319,944
減価償却費		3,577	30	1,425	163	-	12	5,209	16	5,225
減損損失		-	-	-	-	26	-	26	-	26
資本的支出		5,349	13	1,452	213	26	46	7,102	1	7,103
研究開発費		1,847	207	275	272	5	-	2,609	-	2,609
従業員数(名)		12,589	82	6,143	565	177	262	19,818	54	19,872

科目	セグメント	前第2四半期：自平成15年7月1日 至 平成15年9月30日								
		情報・通信		アイケア		生活文化		計	消去又は 全社	連結
		エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア	クリスタル	サービス			
1. 売上高及び営業損益										
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高		33,198	1,155	24,828	7,277	1,021	307	67,786	-	67,786
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		12	-	4	0	7	1,566	1,590	(1,590)	-
計		33,211	1,155	24,833	7,277	1,027	1,872	69,375	(1,590)	67,786
営業費用		22,368	1,189	20,604	5,589	1,165	1,746	52,663	(1,278)	51,385
営業利益又は営業損失()		10,842	35	4,228	1,688	138	127	16,712	(312)	16,400
営業利益率(%)		32.6%	-3.0%	17.0%	23.2%	-13.4%	6.8%	24.1%	-	24.2%
2. 資産、減価償却費及び資本的支出等										
資産		123,731	2,418	93,047	15,944	4,835	2,977	242,955	22,779	265,734
減価償却費		3,394	16	1,362	129	88	8	4,998	19	5,018
資本的支出		2,818	11	1,440	230	50	2	4,550	6	4,557
研究開発費		1,842	64	340	222	7	-	2,478	(16)	2,461
従業員数(名)		7,721	133	5,812	565	174	359	14,764	48	14,812

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

科目	セグメント	増 減								
		情報・通信		アイケア		生活文化		計	消去又は 全社	連結
		エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア	クリスタル	サービス			
売上高 増減額										
(1)外部顧客に対する売上高増減額		9,226	1,769	1,025	807	177	100	10,700	-	10,700
外部売上高の増減率(%)		27.8%	153.2%	-4.1%	11.1%	-17.3%	32.6%	15.8%	-	15.8%
(2)セグメント間売上高又は振替高増減額		143	-	5	0	0	299	120	120	-
計		9,369	1,812	1,032	806	176	198	10,581	120	10,700
営業費用増減額		2,959	1,416	941	508	234	222	3,484	569	4,054
営業損益額増減額		6,411	397	90	298	58	23	7,096	449	6,647
営業損益の増減率(%)		59.1%	-	-2.1%	17.7%	-	18.1%	42.5%	-	40.5%
営業利益率の増減(ポイント)		7.9	15.2	0.4	1.4	4.0	2.2	5.7	-	5.2
資産 増減額		25,082	5,752	923	4,938	2,369	481	31,998	22,211	54,210
減価償却費 増減額		183	14	63	34	88	4	211	3	207
減損損失 増減額		-	-	-	-	26	-	26	-	26
資本的支出 増減額		2,531	2	12	17	24	44	2,552	5	2,546
研究開発費 増減額		5	143	65	50	2	-	131	16	148
従業員数(名) 増減数		4,868	51	331	0	3	97	5,054	6	5,060

(注)

1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要製品及び役務の名称

分野	事業	主要製品及び役務
情報・通信	エレクトロ -optics	半導体用フォトマスク・マスクラック、液晶用マスク・液晶部品、 HDD用ガラスディスク、光学レンズ・光学ガラス、電子用ガラス、光通信関連デバイス
	ホトクス	各種レーザー機器、電子産業用光源、特殊光学ガラス
	ビジョンケア	メガネ用レンズ・フレーム、レンズ加工機器
アイケア	ヘルスケア	コンタクトレンズ、眼内レンズ
	クリスタル	クリスタルガラス製品
生活文化	サービス	情報システムの構築、人材派遣、業務請負

なお、当社の事業区分の方法は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

前期までエレクトロ-optics部門に区分しておりましたHOYA CANDEO OPTRONICS(株) (旧HOYA-SCHOTT(株))を当第1四半期よりホトクス部門に移管しました。なお、HOYA CANDEO OPTRONICS(株)は、前年第1四半期末において持分法適用会社から連結子会社となっております。

2. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、

当第2四半期 754百万円

前第2四半期 459百万円

であり、その主なものは、本社部門並びに海外のエリア持株会社に係る費用であります。

3. 資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、

当第2四半期 59,745百万円

前第2四半期 35,650百万円

であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び本社部門並びに海外のエリア持株会社に係る資産等であります。

2. 所在地別セグメント情報

(単位：百万円未満切捨)

科目	セグメント	当第2四半期：自平成16年7月1日至平成16年9月30日						
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高		59,873	7,682	7,967	2,965	78,486	-	78,486
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高		4,548	45	67	22,247	26,908	(26,908)	-
計		64,422	7,727	8,034	25,212	105,395	(26,908)	78,486
営業費用		51,550	7,548	6,897	17,314	83,309	(27,870)	55,439
営業利益又は営業損失()		12,871	179	1,137	7,898	22,086	960	23,047
営業利益率(%)		20.0%	2.3%	14.2%	31.3%	21.0%	-	29.4%
2. 資産		168,718	20,035	30,728	90,716	310,199	9,745	319,944

科目	セグメント	前第2四半期：自平成15年7月1日至平成15年9月30日						
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高		46,861	8,763	8,991	3,170	67,786	-	67,786
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高		4,087	27	230	14,549	18,894	(18,894)	-
計		50,948	8,791	9,222	17,720	86,680	(18,894)	67,786
営業費用		41,182	8,353	7,253	14,304	71,092	(19,707)	51,385
営業利益		9,765	439	1,970	3,415	15,589	811	16,400
営業利益率(%)		19.2%	5.0%	21.4%	19.3%	18.0%	-	24.2%
2. 資産		149,644	19,264	49,142	60,495	278,547	(12,813)	265,734

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

科目	セグメント	増 減						
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高	増減額							
(1) 外部顧客に対する売上高	増減額	13,012	1,081	1,024	205	10,700	-	10,700
	外部売上高増減率(%)	27.8%	-12.3%	-11.4%	-6.5%	15.8%	-	15.8%
(2) セグメント間売上高又は振替高	増減額	461	18	163	7,698	8,014	(8,014)	-
計		13,474	1,064	1,188	7,492	18,715	(8,014)	10,700
営業費用	増減額	10,368	805	356	3,010	12,217	(8,163)	4,054
営業利益額	増減額	3,106	260	833	4,483	6,497	149	6,647
営業利益額	増減率(%)	31.8%	-59.2%	-42.3%	131.3%	41.7%	-	40.5%
資産	増減額	19,074	771	18,414	30,221	31,652	22,558	54,210

(注) 1. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、

当第2四半期 680百万円、

前第2四半期 358百万円、

であり、その主なものは、本社部門に係る費用であります。

2. 資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、

当第2四半期 55,875百万円、

前第2四半期 19,993百万円、

であり、その主なものは、余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び本社部門に係る資産等であります。

3. 海外売上高

(単位：百万円未満切捨)

科目	セグメント	当第2四半期 自 平成16年7月1日 至 平成16年9月30日				合計
		北米	欧州	アジア	その他の地域	
海外売上高		11,440	8,736	15,778	2	35,956
連結売上高						78,486
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)		14.6%	11.1%	20.1%	0.0%	45.8%
海外売上高における 地域別の割合(%)		31.8%	24.3%	43.9%	0.0%	100.0%

科目	セグメント	前第2四半期 自 平成15年7月1日 至 平成15年9月30日				合計
		北米	欧州	アジア	その他の地域	
海外売上高		9,657	9,709	10,680	1	30,047
連結売上高						67,786
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)		14.2%	14.3%	15.8%	0.0%	44.3%
海外売上高における 地域別の割合(%)		32.1%	32.3%	35.6%	0.0%	100.0%

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

科目	セグメント	増 減				合計
		北米	欧州	アジア	その他の地域	
海外売上高増減額		1,783	973	5,098	1	5,909
連結売上高増減額						10,700
海外売上高増減率(%)		18.5%	-10.0%	47.7%	100.0%	19.7%

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1. 国又は地域の区分の方法・・・地理的近接度による。
2. 各区分に属する主な国又は地域・・・北米：米国、カナダ等
欧州：オランダ、ドイツ、イギリス等
アジア：シンガポール、タイ、韓国、台湾等
その他の地域：サウジアラビア、ブラジル等

(4) 販売の状況 (四半期連結部門別売上高明細表)

(単位：百万円未満切捨)

分野・事業別	期 別	当第2四半期 自平成16年7月1日 至平成16年9月30日		前第2四半期 自平成15年7月1日 至平成15年9月30日		増 減		当第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	
		金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%	金 額	構成比%
	国 内	21,907	51.6	19,215	57.9	2,692	14.0	21,776	54.3
	海 外	20,517	48.4	13,983	42.1	6,534	46.7	18,310	45.7
	エレクトロニクス	42,424	54.1	33,198	49.0	9,226	27.8	40,087	53.5
	国 内	1,984	67.9	852	73.8	1,132	132.9	1,860	64.4
	海 外	940	32.1	302	26.2	638	211.3	1,026	35.6
	ホトニクス	2,924	3.7	1,155	1.7	1,769	153.2	2,887	3.8
	国 内	23,891	52.7	20,068	58.4	3,823	19.1	23,636	55.0
	海 外	21,457	47.3	14,285	41.6	7,172	50.2	19,337	45.0
	情報・通信	45,348	57.8	34,353	50.7	10,995	32.0	42,974	57.3
	国 内	9,590	40.3	9,247	37.2	343	3.7	8,897	38.9
	海 外	14,213	59.7	15,581	62.8	1,368	8.8	13,964	61.1
	ビジョンケア	23,803	30.3	24,828	36.6	1,025	4.1	22,862	30.5
	国 内	7,940	98.2	7,220	99.2	720	10.0	7,530	97.7
	海 外	143	1.8	58	0.8	85	146.6	176	2.3
	ヘルスケア	8,084	10.3	7,277	10.7	807	11.1	7,706	10.3
	国 内	17,531	55.0	16,467	51.3	1,064	6.5	16,427	53.7
	海 外	14,356	45.0	15,639	48.7	1,283	8.2	14,140	46.3
	アイケア	31,887	40.6	32,106	47.4	219	0.7	30,568	40.8
	国 内	701	83.1	899	88.1	198	22.0	932	89.0
	海 外	142	16.9	122	11.9	20	16.4	115	11.0
	クリスタル	844	1.1	1,021	1.5	177	17.3	1,047	1.4
	国 内	407	100.0	307	100.0	100	32.6	369	100.0
	海 外	-	-	0	0.0	0	-	0	0.0
	サービス	407	0.5	307	0.5	100	32.6	369	0.5
	国 内	1,108	88.6	1,205	90.8	97	8.0	1,302	91.9
	海 外	142	11.4	122	9.2	20	16.4	115	8.1
	生活文化	1,251	1.6	1,327	1.9	76	5.7	1,417	1.9
	国 内	42,530	54.2	37,739	55.7	4,791	12.7	41,367	55.2
	海 外	35,956	45.8	30,047	44.3	5,909	19.7	33,593	44.8
合 計		78,486	100.0	67,786	100.0	10,700	15.8	74,961	100.0